



あるアンケートで、日本の会社の70%を超える会社が、退職金制度があると回答しています。

社員数100人～299人の会社では、その94%が退職金制度を導入しています。

近年、日本版401Kの導入により、会社が退職金引当金として管理するスタイルから、掛け金を会社が拠出、社員が自己責任で金融商品を選択運用、将来の受取額はその運用により各自違ってくるという確定拠出型に変わってきています。

また、この制度の特徴は、会社が変わってもその個人資産を持ち運べる点にあります。

今までは、ひとつの会社を退職すると、その時点で退職金を精算、次の会社ではまた一からスタートという形でしたが、持越しが出来る点が改善点です。

退職金の支払い方法も、一括支払型、一時金＋年金併用型、年金型とバラエティに富んでいます。

ところで、肝心の退職金の金額ですが、従業員300人未満の関東地区1200社のデータによると、定年退職で大卒1300万円、高卒定年1200万円です。

定年を迎える方にとっては、退職金はセカンドライフへの大切な蓄えです。そのため、退職金の課税方法は、他の所得への課税より控除額が大きく取られています。

\* この退職金のデータですが、少々古いもので、2008年現在はもう少しまダウンしていると思われます。

=====

~~~~~編集後記~~~~~

アメリカの次期大統領は、バラク・オバマ氏に決定。

"Yes, we can!"

というオバマ氏の言葉には、  
アメリカの変革の時、自国民に積極性と自信を取り戻そうと  
呼びかける姿勢が見られ  
ちょっと羨ましく思いました。

これからの、オバマ氏の執政を見ないとなんとも言えないの  
かもしれませんが、  
1万2千円を配るよりもっと大切な施策があるような気がして  
なりません。

医療や教育の充実や、失業対策にこの原資を振り向けたほうが  
安心な未来が開けるような気がします。

母子家庭に育った私は、  
働きたい児童生徒のための職業訓練資金や  
勉強したい子のための奨学金など  
もっともっとお金の使い道があるような気がします。

働きたい子には、よりよい環境で働く喜びを  
勉強したい子には、安心して勉強できる経済的なバックグラウンドを

親の収入に関係なく、希望する進路へ進める自由を  
次代の子供に与えてほしいと思います。

~~~~~

\*\*\*\*\*

**年金についてのご相談なら**

西尾雅枝社会保険労務士事務所  
社会保険労務士 & 年金コンサルタント  
西尾雅枝  
〒604-8155

京都市中京区錦小路通室町東入ル  
占出山町308 ヤマチュービル2F N10  
電話&FAX(075)241-4586

メール[info@nishio-sr.com](mailto:info@nishio-sr.com)

WEBサイト<http://www.nishio-sr.com>

\* このメールマガジンの無断転載・転用は固くお断りいたします。\*

\*\*\*\*\*

---

働くあなたの公的年金 & 保険知っ得情報

発行システム:『まぐまぐ!』<http://www.mag2.com>

配信中止はこちら』<http://www.mag2.com/m/0000180112.html>

---